

### Ⅲ. 血液製剤による副作用（輸血感染症を含む）対策

#### 21. 血液照射の実施状況（複数回答可）

	照射血液を使わない		一部の患者用に照射する		照射するが未照射もある		全て照射		総施設数
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	
a 20-99床	27	2.4	11	1.0	132	11.6	966	84.7	1140
b 100-199床	4	0.7	2	0.4	65	12.2	465	87.1	534
c 200-299床	2	0.7	0	0.0	39	14.4	232	85.6	271
d 300-499床	4	1.0	0	0.0	52	13.3	345	88.2	391
e 500床以上	1	0.4	0	0.0	29	12.3	214	90.7	236
合計	38	1.5	13	0.5	317	12.3	2222	86.4	2572

血液照射は86.4%の施設が全ての血液について実施している。逆に実施していない施設が1.5%ある。

#### 22. 血液製剤による副作用（輸血感染症を含む）の報告体制（複数回答可能）

	報告体制はない		病院内の報告体制		血液センターへの報告体制		厚生労働省への報告体制		総施設数
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	
a 20-99床	183	16.1	790	69.3	401	35.2	174	15.3	1140
b 100-199床	75	14.0	370	69.3	246	46.1	123	23.0	534
c 200-299床	24	8.9	194	71.6	162	59.8	89	32.8	271
d 300-499床	23	5.9	306	78.3	282	72.1	134	34.3	391
e 500床以上	3	1.3	209	88.6	210	89.0	109	46.2	236
合計	308	12.0	1869	72.7	1301	50.6	629	24.5	2572

#### 22- (1) 副作用の報告体制の有無と血液製剤使用量との関連

複数回答可能なので、体制は無いに○、かつ、その他全てに×なら「1ない」群、  
体制は無いが×、かつ、その他のいずれかまたは複数に○なら「2あり」群とする

#### 22- (1) -ア MAP（千床当たりの使用量と、各病院の千床当たり使用量の平均、標準偏差）

	副作用報告体制	施設数	M・A・P 総使用量		千床当 M・A・P 総使用量	
			計(単位)	全件/全床×千	平均(単位)	SD
a 20-99床	ない	175	30610	3337.0	3370.6	3177.2
	ある	877	169133	3620.5	3645.9	5264.9
b 100-199床	ない	72	40826	4118.0	4014.5	2832.5
	ある	426	254725	4241.5	4237.8	3693.6
c 200-299床	ない	23	29573	5381.8	5393.4	3868.2
	ある	234	273686	4804.9	4831.2	3425.5
d 300-499床	ない	23	40586	4956.2	4840.5	2530.7
	ある	360	854869	6441.0	6382.1	3966.2
e 500床以上	ない	2	8659	5557.8	4999.5	2551.8
	ある	232	1563620	9721.3	9379.1	3526.2

22- (1) -イ FFP (千床当たりの使用量と、各病院の千床当たり使用量の平均、標準偏差)

	副作用報告体制	施設数	FFP 総使用量		千床当 FFP 総使用量	
			計(単位)	全件/全床 x 千	平均(単位)	SD
a 20-99 床	ない	89	8253	1528.1	1573.7	2735.9
	ある	527	55220	1836.4	1827.6	5799.7
b 100-199 床	ない	64	16369	1830.0	1809.8	2207.4
	ある	383	120604	2223.9	2220.2	4294.5
c 200-299 床	ない	22	16600	3160.7	3212.8	3265.5
	ある	222	142983	2646.5	2707.0	3467.2
d 300-499 床	ない	23	18837	2300.3	2254.0	2055.0
	ある	354	535375	4099.3	4051.3	3967.2
e 500 床以上	ない	2	7435	4772.1	4273.9	2277.4
	ある	232	1310080	8157.5	7541.8	5355.9

23.血液製剤による副作用や輸血後感染症の検査を行う等の追跡

	全く実施せず		一部実施		全例実施		計	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
a 20-99 床	400	36.7	548	50.2	143	13.1	1091	100
b 100-199 床	151	29.5	308	60.3	52	10.2	511	100
c 200-299 床	58	22.4	172	66.4	29	11.2	259	100
d 300-499 床	33	8.8	306	82.0	34	9.1	373	100
e 500 床以上	5	2.2	192	82.8	35	15.1	232	100
合計	647	26.2	1526	61.9	293	11.9	2466	100

24.輸血療法に伴う事故やインシデントの報告体制

88.3%が「あり」と回答している

25.輸血療法に伴う事故の防止対策 (複数回答可能)

	院内で統一の 取り組みなし		看護手順等に 盛り込み実施		委員会で決定 (マニュアルなし)		委員会で決定 (マニュアルあり)		総施設数
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	
a 20-99 床	209	18.3	509	44.6	78	6.8	384	33.7	1140
b 100-199 床	60	11.2	186	34.8	39	7.3	273	51.2	534
c 200-299 床	19	7.0	64	23.6	20	7.4	179	66.1	271
d 300-499 床	21	5.4	54	13.8	36	9.2	299	76.5	391
e 500 床以上	2	0.8	19	8.1	14	5.9	209	88.6	236
合計	311	12.1	832	32.3	187	7.3	1344	52.3	2572

IV. 血液製剤の適正使用対策

26.血液製剤の適正使用の、病院の取り組み

	医師個人に任 される		レセプト減点になる もののみ		病院全体で取り 組む		計	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
a 20-99 床	727	66.2	147	13.4	224	20.4	1098	100
b 100-199 床	274	53.7	70	13.7	166	32.5	510	100
c 200-299 床	105	40.1	26	9.9	131	50.0	262	100
d 300-499 床	109	28.8	39	10.3	230	60.8	378	100
e 500 床以上	36	15.9	16	7.1	174	77.0	226	100
合計	1251	50.6	298	12.0	925	37.4	2474	100

26- (1) 適正使用の病院の取り組みと血液製剤使用量との関連

個々の医師に任されているに○なら「1 医師個人任せ」群, それ以外に○なら「2 それ以外」群とする

26- (1) -7 MAP (千床当たりの使用量と, 各病院の千床当たり使用量の平均, 標準偏差)

	適正使用の取 り組み	施設数	M・A・P 総使用量		千床当 M・A・P 総使用量	
			計(単位)	全件/全床 x 千	平均(単位)	SD
A 20- 99 床	医師個人任せ	692	118570	3312.1	3284.7	3593.9
	それ以外	356	81441	4073.1	4228.6	6884.0
B 100-199 床	医師個人任せ	268	143093	3817.3	3760.7	3129.1
	それ以外	230	151711	4664.9	4675.4	3992.5
C 200-299 床	医師個人任せ	102	115774	4662.7	4707.4	3310.3
	それ以外	154	188086	5019.9	5029.2	3551.3
D 300-499 床	医師個人任せ	108	253422	6593.5	6508.1	4993.2
	それ以外	267	624236	6278.0	6218.9	3414.0
E 500 床以上	医師個人任せ	36	197375	8683.8	8503.2	3648.5
	それ以外	189	1317007	9872.9	9515.6	3499.7

26- (1) -イ. FFP (千床当たりの使用量と, 各病院の千床当たり使用量の平均, 標準偏差)

	適正使用の取 り組み	施設数	FFP 総使用量		千床当 FFP 総使用量	
			計(単位)	全件/全床 x 千	平均(単位)	SD
a 20- 99 床	医師個人任せ	380	29493	1375.9	1388.8	2728.7
	それ以外	232	34102	2450.7	2488.3	8184.8
b 100-199 床	医師個人任せ	236	65443	1970.5	1925.5	3317.3
	それ以外	210	69744	2337.9	2361.9	4730.8
c 200-299 床	医師個人任せ	95	66379	2871.8	2932.8	3494.6
	それ以外	149	93003	2564.3	2613.7	3393.8
d 300-499 床	医師個人任せ	105	166566	4460.2	4367.7	5013.7
	それ以外	265	378720	3835.1	3791.6	3398.9
e 500 床以上	医師個人任せ	35	165492	7597.0	6968.1	5241.4
	それ以外	190	1109360	8272.9	7656.0	5438.6

27. 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(血液法, 平成 15 年 7 月施行) の周知

87.4%が知っている.

28. 「血液製剤の使用指針・輸血療法の実施に関する指針」(平成 11 年の厚生省通知) への対応

	個々の医師に 任せる		関連部門のみ 配備		院内配布している がマニュアル無し		マニュアル作成		計	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
a 20- 99 床	456	41.8	114	10.4	304	27.9	217	19.9	1091	100
b 100-199 床	170	33.1	59	11.5	138	26.8	147	28.6	514	100
c 200-299 床	54	20.8	38	14.7	70	27.0	97	37.5	259	100
d 300-499 床	53	13.9	39	10.2	97	25.4	193	50.5	382	100
e 500 床以上	13	5.6	16	6.9	49	21.0	155	66.5	233	100
合計	746	30.1	266	10.7	658	26.5	809	32.6	2479	100

個々の医師(個々の医師に任せている), 関連部門(輸血関連部門には配備しているが, 院内に周知はしていない), 院内配布(院内の医師, 看護師に配布し周知しているがマニュアルはない), マニュアル(院内に周知し院内の輸血療法マニュアルに取り込んで実施している)かについては, マニュアルまで作成して対応していると回答した施設が全体で 32.6%である. 逆に個々の医師に任せていると回答した施設が 30.1%である

29.指針の、輸血後肝炎のフォローアップ体制

	殆ど行わず		再来院者		半分程度		かなり行う		殆どに行う		合計	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
a 20-99床	352	32.7	357	33.1	77	7.1	206	19.1	86	8.0	1078	100
b 100-199床	160	32.4	181	36.6	32	6.5	98	19.8	23	4.7	494	100
c 200-299床	88	34.8	96	37.9	18	7.1	40	15.8	11	4.3	253	100
d 300-499床	111	31.0	165	46.1	23	6.4	52	14.5	7	2.0	358	100
e 500床以上	60	26.3	111	48.7	20	8.8	32	14.0	5	2.2	228	100
合計	771	32.0	910	37.7	170	7.1	428	17.8	132	5.5	2411	100

「血液製剤の使用指針・輸血療法の実施に関する指針」（平成 11 年の厚生省通知）の「（輸血後肝炎の）感染の有無を見るためには、輸血後最低 3 ヶ月、できれば 6 ヶ月間程度定期的に肝機能と肝炎ウイルス関連マーカーの検査を行う必要がある」に対しての体制についての質問の 5 区分の内容は以下の通りである。

1. 殆ど行わず：輸血後の検査はほとんど行っていない。
2. 再来院者：再来院した患者など若干は行っている。
3. 半分程度：半分程度は行っている。
4. かなり行う：かなりの患者に行っている。
5. 殆どに行う：再来院をうながしてまでほとんどの患者に行っている。

30.貯血式自己血輸血の実施体制

	実施せず		各診療科任せ		なるべく集中		業務を集中		計	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
a 20-99床	865	76.6	126	11.2	63	5.6	75	6.6	1129	100
b 100-199床	161	30.8	191	36.6	85	16.3	85	16.3	522	100
c 200-299床	30	11.3	128	48.1	56	21.1	52	19.5	266	100
d 300-499床	11	2.8	180	46.5	76	19.6	120	31.0	387	100
e 500床以上	2	0.9	63	27.2	41	17.7	126	54.3	232	100
合計	1069	42.2	688	27.1	321	12.7	458	18.1	2536	100

30- (1) 貯血式自己血輸血の実施の有無と血液製剤使用量との関連

実施せずに○なら「1 実施せず」群，それ以外に○なら「2 実施している」群とする

30- (1) -ア MAP（千床当たりの使用量と、各病院の千床当たり使用量の平均、標準偏差）

	貯血式自己血輸血	施設数	M・A・P 総使用量		千床当 M・A・P 総使用量	
			計(単位)	全件/全床 x 千	平均(単位)	SD
a 20-99床	実施せず	827	138271	3278.4	3363.3	4363.9
	実施している	253	68314	4454.2	4378.5	6406.8
b 100-199床	実施せず	155	60079	3009.7	3000.1	2449.3
	実施している	353	240534	4667.3	4700.3	3838.0
c 200-299床	実施せず	28	14229	2103.3	2201.8	1982.6
	実施している	232	292201	5178.6	5194.7	3451.2
d 300-499床	実施せず	11	7953	2096.8	2198.1	2062.6
	実施している	373	890920	6495.0	6430.5	3898.6
e 500床以上	実施せず	2	164	113.5	132.4	87.0
	実施している	229	1539133	9697.4	9343.1	3429.6

30- (1) -イ FFP (千床当たりの使用量と, 各病院の千床当たり使用量の平均, 標準偏差)

	貯血式自己血輸血	施設数	FFP 総使用量		千床当 FFP 総使用量	
			計(単位)	全件/全床 x 千	平均(単位)	SD
a 20-99 床	実施せず	451	29921	1194.8	1273.0	2725.6
	実施している	180	36089	3152.4	3152.3	9072.8
b 100-199 床	実施せず	128	21293	1287.8	1281.0	1806.4
	実施している	330	115966	2400.3	2431.6	4565.1
c 200-299 床	実施せず	22	7552	1430.8	1465.4	1938.3
	実施している	225	152372	2783.8	2838.6	3490.0
d 300-499 床	実施せず	10	5012	1455.7	1496.1	2354.2
	実施している	368	551770	4075.1	4022.3	3924.2
e 500 床以上	実施せず	1	302	604.0	604.0	.
	実施している	230	1296555	8133.2	7508.7	5368.3

31.貯血式自己血輸血用血液の保管管理体制

	一括管理		採血診療科管理		計	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%
a 20-99 床	208	75.6	67	24.4	275	100
b 100-199 床	324	92.0	28	8.0	352	100
c 200-299 床	219	92.0	19	8.0	238	100
d 300-499 床	359	95.5	17	4.5	376	100
e 500 床以上	229	99.1	2	0.9	231	100
合計	1339	91.0	133	9.0	1472	100

32.供血者からの院内採血 (生血輸血) の実施

	実施していない		やむを得ない時のみ		日常的に実施		計	
	施設数	%	施設数	%	施設数	%	施設数	%
a 20-99 床	1074	95.3	53	4.7	0	0	1127	100
b 100-199 床	469	89.5	55	10.5	0	0	524	100
c 200-299 床	224	83.3	45	16.7	0	0	269	100
d 300-499 床	283	72.8	105	27.0	1	0.3	389	100
e 500 床以上	144	61.3	88	37.4	3	1.3	235	100
合計	2194	86.2	346	13.6	4	0.2	2544	100

32- (1) 生血輸血実施の有無と血液製剤使用量との関連

実施していない○なら「1 実施せず」群, それ以外に○なら「2 実施している」群とする

32- (1) -ア MAP (千床当たりの使用量と, 各病院の千床当たり使用量の平均, 標準偏差)

	生血輸血	施設数	M・A・P 総使用量		千床当 M・A・P 総使用量	
			計(単位)	全件/全床 x 千	平均(単位)	SD
a 20-99 床	実施せず	1029	188734	3453.8	3462.8	4408.3
	実施している	48	18125	6348.5	6743.6	11103.5
b 100-199 床	実施せず	455	256807	4021.3	3978.0	3239.8
	実施している	55	43112	5479.4	5631.2	5335.8
c 200-299 床	実施せず	218	251470	4716.0	4730.8	3547.7
	実施している	45	58747	5552.1	5583.8	2780.4
d 300-499 床	実施せず	281	623758	6109.3	6062.5	4008.2
	実施している	105	278891	7012.4	6919.1	3583.1
e 500 床以上	実施せず	143	926662	9392.1	9031.1	3439.9
	実施している	91	642224	10117.6	9805.4	3667.8

32- (1) -イ FFP (千床当たりの使用量と、各病院の千床当たり使用量の平均、標準偏差)

	生血輸血	施設数	FFP 総使用量		千床当 FFP 総使用量	
			計(単位)	全件/全床 x 千	平均(単位)	SD
a 20-99 床	実施せず	592	57904	1697.4	1696.1	5300.2
	実施している	40	7901	3185.9	3364.7	6841.0
b 100-199 床	実施せず	404	110905	1944.1	1922.4	3121.8
	実施している	54	26133	3368.5	3493.8	7948.6
c 200-299 床	実施せず	205	128974	2571.9	2619.8	3408.1
	実施している	45	34877	3296.2	3344.0	3506.3
d 300-499 床	実施せず	276	368196	3669.9	3635.7	3881.8
	実施している	105	190738	4795.9	4724.7	3855.6
e 500 床以上	実施せず	143	743378	7553.3	6972.0	4968.2
	実施している	91	569618	8973.8	8306.0	5854.0

V. 血液製剤の使用状況

33.平成 14 年の血液製剤の年間使用量及び廃棄量

33- (1) 赤血球 M・A・P 「日赤」 使用量

	施設数	一般病床数(床)	MAP 総使用量(単位)		千床当 MAP 総使用量(単位)	
			計	全件/全床 x 千	平均	SD
a 20-99 床	1089	58,015	208,020	3585.6	3595.8	4918.6
b 100-199 床	518	72,851	304,304	4177.1	4155.3	3541.6
c 200-299 床	265	64,424	313,000	4858.4	4880.5	3426.4
d 300-499 床	388	142,520	906,255	6358.8	6292.8	3906.4
e 500 床以上	235	162,902	1,575,541	9671.7	9329.7	3535.4
計	2495	500,712	3,307,120	6604.8	4807.9	4575.8

33- (1) -ア 赤血球 M・A・P 「日赤」 使用量 (100 床区切り)

	施設数	一般病床数(床)	MAP 使用量(単位)		千床当 MAP 使用量(単位)	
			計	全件/全床 x 千	平均	SD
a 20-99 床	1089	58,015	208,020	3585.6	3595.8	4918.6
b 100-199 床	518	72,851	304,304	4177.1	4155.3	3541.6
c 200-299 床	265	64,424	313,000	4858.4	4880.5	3426.4
d 300-399 床	268	90,067	530,041	5885.0	5898.7	3561.2
e 400-499 床	120	52,453	376,214	7172.4	7172.9	4476.7
f 500-599 床	96	51,699	413,936	8006.7	7983.5	3038.3
g 600-699 床	58	37,323	349,742	9370.7	9343.8	3823.8
h 700-799 床	26	19,218	190,440	9909.5	9908.9	2558.5
i 800-999 床	30	26,310	300,760	11431.4	11477.5	3888.4
j 1000 床以上	25	28,352	320,663	11310.1	11286.6	2853.2
計	2495	500,712	3,307,120	6604.8	4807.9	4575.8

33- (2) その他（白血球除去等）の赤血球製剤使用量

	施設数	一般病床数 (床)	その他の赤血球使用量(単位)		千床当その他の赤血球使用量 (単位)	
			計	全件/全床 x 千	平均	SD
A 20-99 床	83	5,102	2,201	431.4	557.6	1016.5
b 100-199 床	119	17,434	4,743	272.1	266.4	512.2
c 200-299 床	113	27,767	4,941	177.9	177.0	288.4
d 300-499 床	194	72,640	14,727	202.7	205.1	328.8
e 500 床以上	189	133,879	44,140	329.7	337.6	717.1
計	698	256,822	70,752	275.5	288.8	601.1

33- (3) 赤血球製剤廃棄量

	施設数	一般病床数 (床)	赤血球製剤廃棄量(単位)		千床当赤血球廃棄量(単位)	
			計	全件/全床 x 千	平均	SD
A 20-99 床	739	40,982	12,731	310.6	302.3	725.0
b 100-199 床	463	65,642	33,728	513.8	501.4	656.1
c 200-299 床	252	61,282	33,713	550.1	555.2	566.5
d 300-499 床	377	138,676	70,800	510.5	524.6	509.6
e 500 床以上	230	158,748	49,053	309.0	312.9	332.8
計	2061	465,330	200,025	429.9	419.8	629.0

33- (3) -ア 赤血球製剤使用量に対する廃棄量の割合

	千床当 MAP 総使用量の平均 (単位)	千床当赤血球製剤総廃棄量 の平均(単位)	千床当平均使用量に対する 廃棄量の割合(%)
a 20-99 床	3595.8	302.3	8.4
b 100-199 床	4155.3	501.4	12.1
c 200-299 床	4880.5	555.2	11.4
d 300-499 床	6292.8	524.6	8.3
e 500 床以上	9329.7	312.9	3.4
計	4807.9	419.8	8.7

33- (4) 新鮮凍結血漿 (FFP) 使用量

	施設数	一般病床数 (床)	FFP 総使用量(単位)		千床当 FFP 総使用量(単位)	
			計	全件/全床 x 千	平均	SD
A 20-99 床	638	36,897	66,282	1796.4	1798.1	5396.3
b 100-199 床	465	65,788	139,094	2114.3	2110.1	3997.2
c 200-299 床	252	61,248	165,108	2695.7	2747.5	3416.6
d 300-499 床	382	140,400	560,098	3989.3	3935.7	3895.0
e 500 床以上	235	162,656	1,318,278	8104.7	7488.4	5346.3
計	1972	466,989	2,248,860	4815.7	3085.2	4920.6

## 33-(4)-ア FFP 使用量 (100 床区切り)

	施設数	一般病床数 (床)	FFP 使用量(単位)		千床当 FFP 使用量(単位)	
			計	全件/全床 x 千	平均	SD
a 20-99 床	638	36,897	66,282	1796.4	1798.1	5396.3
b 100-199 床	465	65,788	139,094	2114.3	2110.1	3997.2
c 200-299 床	252	61,248	165,108	2695.7	2747.5	3416.6
d 300-399 床	263	88,387	321,359	3635.8	3650.6	3670.8
e 400-499 床	119	52,013	238,739	4590.0	4565.6	4299.3
f 500-599 床	96	51,699	290,641	5621.8	5582.5	3381.8
g 600-699 床	59	38,022	256,133	6736.4	6716.8	5240.9
h 700-799 床	26	19,218	178,115	9268.1	9211.5	5490.8
i 800-999 床	29	25,365	270,390	10660.0	10534.6	5554.0
j 1000 床以上	25	28,352	322,999	11392.5	11302.2	7353.6
計	1972	466,989	2,248,860	4815.7	3085.2	4920.6

## 33-(5) FFP 廃棄量

	施設数	一般病床数 (床)	FFP 廃棄量(単位)		千床当 FFP 廃棄量(単位)	
			計	全件/全床 x 千	平均	SD
a 20-99 床	622	34,842	1,456	41.8	41.4	119.4
b 100-199 床	417	59,396	3,227	54.3	54.0	124.2
c 200-299 床	238	57,803	2,794	48.3	49.3	97.4
d 300-499 床	364	134,106	6,796	50.7	51.0	75.9
e 500 床以上	226	156,068	15,472	99.1	86.2	189.7
計	1867	442,215	29,745	67.3	52.5	122.6

## 33-(6) 血小板製剤 (PC) 総使用量

	施設数	一般病床数 (床)	PC 総使用量(単位)		千床当 PC 総使用量(単位)	
			計	全件/全床 x 千	平均	SD
a 20-99 床	576	33,525	104,947	3130.4	3183.0	13597.5
b 100-199 床	443	63,103	220,191	3489.4	3548.5	7310.3
c 200-299 床	256	62,211	338,602	5442.8	5471.3	15533.6
d 300-499 床	384	141,033	1,266,352	8979.1	8885.2	10993.8
e 500 床以上	235	162,656	3,593,304	22091.4	20918.6	16286.7
計	1894	462,528	5,523,396	11941.8	6934.4	13809.0

33-(6)-ア PC 総使用量 (100 床区切り)

	施設数	一般病床数 (床)	PC 使用量(単位)		千床当 PC 使用量(単位)	
			計	全件/全床 x 千	平均	SD
a 20-99 床	576	33,525	104,947	3130.4	3183.0	13597.5
b 100-199 床	443	63,103	220,191	3489.4	3548.5	7310.3
c 200-299 床	256	62,211	338,602	5442.8	5471.3	15533.6
d 300-399 床	265	89,070	752,526	8448.7	8417.8	11037.9
e 400-499 床	119	51,963	513,826	9888.3	9926.1	10868.9
f 500-599 床	96	51,699	835,558	16162.0	16108.4	12543.2
g 600-699 床	59	38,022	818,497	21526.9	21350.7	23543.6
h 700-799 床	26	19,218	446,755	23246.7	23227.6	11481.8
i 800-999 床	29	25,365	714,790	28180.2	28100.0	12105.4
j 1000 床以上	25	28,352	777,704	27430.3	27637.9	10368.2
計	1894	462,528	5,523,396	11941.8	6934.4	13809.0

33-(7) PC 廃棄量

	施設数	一般病床数 (床)	PC 廃棄量(単位)		千床当 PC 廃棄量(単位)	
			計	全件/全床 x 千	平均	SD
a 20-99 床	584	32,618	480	14.7	13.6	73.6
b 100-199 床	401	57,021	2,554	44.8	42.3	266.5
c 200-299 床	233	56,684	3,003	53.0	54.8	246.5
d 300-499 床	353	130,141	8,610	66.2	67.0	111.1
e 500 床以上	227	156,574	26,545	169.5	155.8	204.5
計	1798	433,038	41,192	95.1	53.8	187.1

本調査による平成 14 年の血液製剤の年間使用量及び廃棄量調査の結果、赤血球 M・A・P「日赤」使用量の合計は、331 万単位で、平成 14 年の全国総供給量 564 万単位の 59%に相当した。千床当たりでは 6604.8 で平均使用量は 4807.9 単位(1 単位は 200mL 由来)であった。また 500 床以上の病院で 47.6%を使用していた

新鮮凍結血漿使用量の合計は 225 万単位で、平成 14 年の全国総供給量 346 万単位の 65%に相当した。千床当たりでは 4815.7 で平均使用量は 3085.2 単位(1 単位は 200mL 由来)であった。また、500 床以上の病院で 58.6%を使用していた

血小板製剤使用量の合計は 552 万単位で、平成 14 年の全国総供給量 795 万単位の 69%に相当した。千床当たりでは 11941.8 で平均使用量は 6934.4 単位(1 単位は 200mL 由来)であった。また 500 床以上の病院で 65.1%使用していた

VI. 血漿分画製剤の使用状況

34. アルブミン製剤

34-(1) 加熱人血漿たん白の使用量

	施設数	一般病床数 (床)	加熱人血漿たん白使用量(g)		千床当血漿たん白使用量(g)	
			計	全件/全床 x 千	平均	SD
a 20-99 床	159	9,556	79,314	8300.0	9121.1	13932.7
b 100-199 床	144	20,654	161,326	7810.9	8093.5	12218.7
c 200-299 床	94	22,777	281,017	12337.8	12423.2	16474.1
d 300-499 床	164	60,864	729,566	11986.8	11759.8	12065.8
e 500 床以上	125	88,334	1,963,012	22222.6	20996.7	19114.6
計	686	202,185	3,214,235	15897.5	12152.6	15280.3